

The Shakespeare Company

原作 / W・シェイクスピア

共同演出 / 秋辺デボ、下館和巳

アイヌ オセロ

露 征 旺

— O T H E L L O —

アイヌに惚れたシェイクスピア

仙台公演

■場所 エルパーク仙台 スタジオホール (全席自由)
(宮城県仙台市青葉区一番町4丁目11-1)

■公演日 2018年1月12日(金) 18:30
13日(土) ①13:00 ②18:00 14日(日) ①13:00 ②18:00

※開場は各30分前です。

■チケット発売日 11月18日

■チケット料金：仙台公演 / 前売 一般 2,500円 学生 2,000円 当日 一律 3,000円

お問い合わせ/シェイクスピア・カンパニー事務局

●劇団ホームページ <https://www.shakespeare-company.net/>

●E-mail shakespearecompanyjapan@gmail.com

●TEL 090-5840-1103

触れられなかった歴史に真実の愛がふれる 愛されたかった愛したかったアイヌの男 和人の女 嫉妬に翻弄された蝦夷の大地の物語

舞台は幕末の道東。北方警備にあたっていた仙台藩は
オホーツクの海に通じたアイヌの旺征露（オセロ）を、
エトロフ島の陣屋の長に任命。

旺征露と仙台藩士の娘貞珠真（デスマ）はお互いに惹かれあい、
ふたりは許されぬ愛ゆえに駆け落ちをして結ばれる。

しかし、旺征露の側近で前代未聞の悪党に翻弄されて、ふたりの愛は
嫉妬の炎に包まれる。

果たしてふたりはどうなるのか？

壮大なシェイクスピア世界が今、北海道で生まれ変わる。

主宰・演出 下館和巳より

「アイヌを主人公とする『アトウイ・オセロ』の「アトウイ」はアイヌ語で「海」を意味します。

この度の公演は、アイヌ民族のみなさんとの共同制作になりますので、

新しい『オセロ』に生まれ変わります。その思いを込めて『アイヌ・オセロ』とタイトルを改めました」

共同演出 秋辺デボ アイヌ芸術の鬼才 シェイクスピアに挑む

プロフィール

1960年阿寒湖温泉生まれのアイヌ民族。

民芸店を経営しながら阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事を務めるほか、
ユーカラ劇脚本・演出家、ロックバンドの歌手、アイヌ舞踏家、高校
『アイヌ学』臨時教員、ハリウッド映画『許されざる者』には俳優として出演。
枠に囚われることのない複数の顔を持つ。

今回は「東北弁のシェイクスピア」とコラボレーションし、四大悲
劇の一つ『オセロ』の脚本、演出、プロデュースの全てに関わる。

舞踊 澤井和彦 新谷由美子 宮川佳那 早坂ユカ

Cast

及川寛江 水戸貴文 加藤捺紀 ササキけんじ
伏守勇 香田志麻 中野莉嘉 藤井優 石田愛
増田寛子 千葉絵里奈

Staff

脚本/下館和巳 渡邊欣嗣

脚本構想/下館和巳 丸山修身
鹿又正義 菅原博英

共同演出/秋辺デボ 下館和巳

監修/榎森進(アイヌ民族史研究家)、

秋辺デボ(ユーカラ劇脚本演出家)

制作/梶原茂弘 渡邊欣嗣 千坂知晃

制作協力/阿部路子 磯干健 菅又達

梶原祥子 小嶋祐美子

田畑勇士 星佳奈

音楽・音響/橋元成朋

照明/松崎太郎

ポスターデザイン/庄子陽

記録/千葉安男 千坂知晃

プレスマネージャー/浅見典彦

ダイレクティングアドバイザー/兩國浩一

スーパーバイザー/大平常元

チケット取り扱い

料金：仙台公演 / 前売 一般 2,500円 学生 2,000円 当日 一律 3,000円

予約方法：劇団ホームページ、E-mail、お電話にてご予約ください。

- 劇団ホームページ <https://www.shakespeare-company.net/>
- E-mail shakespearecompanyjapan@gmail.com
- TEL 090-5840-1103

※留守番電話になっていた場合、お手数ですが、
お名前と連絡先を伝言メッセージに残してください。
折り返しこちらからご連絡いたします。

劇団HP QRコード



公演予定

- ◆東京公演 2018年6月9日、10日
会場：国際基督教大学ディフェンドルフアー記念館（東京・三鷹）
- ◆札幌公演 2018年7月14日 会場：かでの2・7 かでのホール
- ◆ロンドン公演 2018年8月お盆期間 タラアーツ劇場（英国・ロンドン）

■シェイクスピア・カンパニー プロフィール■

劇場建設の夢を掲げて1992年仙台に発足。直接原作から翻訳、翻案した脚本をもとに、新たなシェイクスピア劇の可能性を模索しています。東北地方の言葉と歴史を生かした独創的な作風で注目され、『恐山の播磨蘇(マクベス)』は英国エディンバラ演劇祭(2000年)でも好評を博し、『破無礼(ハムレット)』(2006年)では仙台、東京をはじめ、東北各県で5000人の観客を魅了しました。しかし、アイヌを主人公にした『アトウイオセロ』(2011年)公演直後、東日本大震災によって活動休止を余儀なくされます。

その後、2012年5月に東北と私たちの再生の想いを込めて、「短くて、ともかく面白い東北シェイクスピア」をコンセプトに掲げて活動を再開。『新・ロミオとジュリエット』(2013年)『新リア王』(2014年)『新ベニスの商人』(2015年)で被災地を巡り大きな反響を得ています。

縄文から幕末、昭和まで、さまざまな時代の東北を舞台に再構築された、新しいけれど、どこか懐かしいシェイクスピア劇に広く触れていただきたいという願いを込めて、2016年にはこれまでの公演作品、翻案劇10作品の脚本集を出版しました。

私たちの最終的な目標は、活動の拠点であるこの東北に、東北人の心のシンボルとなるような、ぬくもりのある木造の劇場を建設することです。